

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ぶらんこ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年2月17日		～ 令和7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常勤職員の中では、情報共有の機会を定期的に設けている。	<ul style="list-style-type: none"> 活動前後の打ち合わせ、反省 定期職員会での情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 非常勤職員がわかりやすく情報共有できるようにする。 大事なところが分かりやすい記録様式。
2	適切な支援を行う為の研修を受ける機会がある。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なスーパーバイズ 研修を受けやすい環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な研修を受けられるようにしていく。
3	保護者との、利用児の状態についての共有。	<ul style="list-style-type: none"> 親子療育、療育参観で、子どもの状態を保護者と共有できるようにしている。 定期面談等で、保護者と話を出来る場を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談以外でも保護者が相談しやすい環境づくりや仕組み作りをしていく。 分離クラスについて、保護者と子どもの状態を共有できる方法を検討していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との情報共有の機会が少ない。	担当者会以外で、関係機関と情報共有する場が少ない。	関係機関と定期的に情報共有できるよう努めていく。
2	バリアフリーでない場所や、活動によっては狭く感じる場所がある。	スペースの確保や、導線の整理。	子どもが動きやすい環境づくり、遊びやすい環境づくりをしていく。
3	活動の立案等、個々の力に頼ることが多い。	個々人の負担が大きくなる。	活動の立案、書類の作成などチームで行う仕組み作りをしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所ぶらんこ

公表日 令和7年 2月 27日

利用児童数 19

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1	0	1	広すぎず狭すぎず、丁度よいスペースだと思います。	ご意見ありがとうございます。 事業所の室内、庭の他に、近くの公園など利用しながら活動を行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1	1	0		定員10人に対して2人以上が配置基準になっており、必ず2名以上は療育活動に配置しております。出来るだけ丁寧に対応できるよう、配置していきたいと思っております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	1		活動内容で部屋を分ける、視覚的な情報を設置するなど行っています。気になる点やご要望などあればお気軽にお伝えください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	1	0	0		午前午後活動後に掃除・消毒を行っています。古い建物なので気になる所もあると思います。気になる点はお気軽にお伝えください。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1	1	0	「これしたかったよねー」の先生もいれば、これするからダメな先生もいる。	ご意見ありがとうございます。 活動前のミーティング、活動後の反省等で再度共通理解を図っていきます。また、研修や意見交換などにより、職員一人一人の専門性の向上を図ってきたいと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	1	0		4月のオリエンテーションの方針などをお伝えしておりました。R7.2に支援プログラムを作成し、HP上に公表致しました。オリエンテーションなどでも保護者の皆様にもお伝えさせて頂きたいと思えます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1	0	0		定期面談やモニタリングで伺ったお話や、普段のお子様の様子から、職員間で意見を出し合いながら、一人一人のお子様にあった支援内容を考え、作成しています。支援計画に対する保護者様のご意見も大事にしていきたいと思っております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	1	0		職員間で意見を出し合いながら、一人一人のお子様にあった支援内容を考え、作成しています。支援計画に対する保護者様のご意見も大事にしていきたいと思っております。ご意見などありましたら、お伝え頂けるとありがたいです。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1	1	0		支援計画については、職員間で共有しております。日々の活動の中でも計画を振り返り、職員間で共通認識を持って支援にあたれるよう努めています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	1	1		グループや子どもに合わせて様々な活動を行っています。子どもの状態によっては、同じ遊びを繰り返すこともあります。様々な活動を経験できるよう配慮していきたいと思えます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	1	1		保育園、子ども園との並行通園の方がほとんどのため、ぶらんこでは地域で他の子どもと交流活動は持っていません。ご要望などあれば、お伝えください。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	0	0	1		外部の講師を招いて、年に2回保護者向けの学習会を行っています。 また、外部から専門職の先生を招いて相談会を行っています。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	1	0	共通理解も出来ていると思いますし、こちらとしても相談しやすい伝えやすい環境です。	ご意見ありがとうございます。 分離グループに関して、お話出来る機会が少なくなってしまいます。保護者と共通理解を図る工夫をしていきたいと思 います。 気になることがあれば、お気軽にご連絡 ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1	0	0		年に2回家族面談の機会を設けています。 それ以外にも、出来るだけ保護者様との 連携が取れるようにしていきたいと思 います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	1	0		保護者の気持ちやニーズに寄り添った支 援を行っていきたくと考えております。 ご意見などあれば、お伝え頂けるとあり がたいです。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	1	0	きょうだい向けのイベント…もしあったら楽し そうかなと思いました。「ぶらんこってど んなところ？」と、きょうだいから聞かれた り、「行ってみたい」と言うこともあったの で。	ご意見ありがとうございます。 保護者茶話会などで、保護者同士の交流 の機会を設けております。ごきょうだい 同士の交流等、今後検討して行きたいと 思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1	0	0		療育内容に関する相談・要望・苦情申立 についての体制を作っております。重要 事項に掲載しております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	1	0		現在、保護者との連絡は、電話かLINEで させて頂いております。気になる点など あれば、お気軽にお伝えください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	1	0		毎月の活動予定は書面でお配りしてあり ます。自己評価については、毎年HP上で 公表しております。わかりやすくお伝え していきたいと思 います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1	0	1		個人情報情報は慎重に取り扱っています。 今後も事業所内で周知徹底していきま す。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	1		大規模災害時の避難場所の確認を年に1 回、各グループ年に2回ずつ訓練を行って おります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	0	3		ケガを確認した際には、保護者様にお電 話を差し上げ、ケガの状態、起こった際 の状況についてお伝えするようにしてお ります。気になること等あれば、お伝え ください。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	1	0	0		お子様が安心感を持てることを一番大事 にしております。気になることがあれば お気軽にお伝えください。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	0		お子様の状態をよく確認しながら、一人 一人に合わせて対応していきたいと思 います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	1	0		次年度のサービス向上について検討して いきたいと思 います。お子様にとっ ても、保護者様にとっ ても居心地のいい場 所になるよう努めて行きたいと思 います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業ぶらんこ				公表日	R7年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容に応じて支援室を使い分ける、庭や敷地外のスペースを活用するといった工夫をしている。	・必要があれば改善していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・子どもの状態に応じて丁寧に対応できるよう、余裕を持った配置をしている。	・必要があれば改善していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・遊び、お集まり、おやつなど、活動ごとに空間を分けている。 ・利用児が分かりやすいための配慮として、生活動線の整理や視覚情報の提示等を行っている。	・玄関等はバリアフリーではない。 ・今後も、職員間で意見を出し合いながら利用児が過ごしやすい環境を検討していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・各グループの活動終了後毎に掃除、消毒を行っている。 ・月に2回、環境整備の日を設けている。	・今後も、職員間で意見を出し合いながら利用児が過ごしやすい環境を検討していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・3つの部屋を使い分けている。 ・必要に応じて、集団活動とは別に個別の対応が出来るように配慮している。	・今後も、職員間で意見を出し合いながら利用児が過ごしやすい環境を検討していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・活動後の反省、定期的な職員会を行っている。	・今後も広く職員が参画できるよう努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け評価表の結果について職員会で改善点などの討議を行っている。 ・茶話会、あおぞら会などで挙げて頂いたご意見を大切にしている。	・保護者が意見を出しやすい環境作りに努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会にて、保護者に意見等を把握する機会を設けている。	・職員が意見を出しやすい環境づくりに努めていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価は行っていない。 ・あおぞら会等で外部の方のご意見を伺う機会を設けている。	・今後も、外部の方のご意見を伺う機会を設けていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・月に1度スーパーヴァイズ研修を行っている。 ・外部研修を受ける機会を設けている。	・スーパーバイズ研修等を今後も続けていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・今年度、職員会で検討し作成した。	・わかりやすく保護者にも周知していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・療育の実践や検査結果をもとに、計画の見直しを行うよう努めている。	・保護者と情報共有を行い、必要に応じて見直しを行っていく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員会で話し合いを行い、職員間で共通理解が持てるよう努めている。	・常勤職員以外と共通理解を図れていない場合がある。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画を確認しながら支援を行っている。 ・毎活動後に支援についての振り返りを行っている。	・常勤職員以外に支援内容を十分に伝えられていない場合がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・専門職が必要な検査を行っている。 ・日々の行動観察の内容を記録し、アセスメントに用いている。	・引き続き、フォーマル、インフォーマルなアセスメントを使用していく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・職員間でガイドラインをもとに話し合い、保護者にも説明を行っている。	・今後も、職員間で話し合いながら設定していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	・年間での大まかな活動プログラムの予定は話し合っている。 ・日々の活動の内容については、周囲に相談しながら個人で考えることが多い。	・年間のプログラムだけではなく、月間プログラム、日々のプログラムについてもチームで意見を出し合えるような仕組み作りをしていく。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・様々な活動を行っているが、時期によっては似た活動が多くなることもある。	遊びの幅を広げていくよう努めていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	・集団での姿、個別での姿をもとに計画を作成している。 ・集団活動の中で、それぞれ発達段階に応じた個別的な対応を行っている。	・適切に子どもの状態を捉えるために、専門知識を深めていくよう努めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・毎活動前に、活動の内容、流れ、準備について打ち合わせを行っている。	・子どもへの対応など共有出来ていない部分もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・毎活動後、職員全員で振り返りを行っている。	・お互いに意見を出し合い、よりよい支援ができるよう努めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・毎活動後、振り返りとともに記録をとっている。	・今後も続けていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・半年に1回以上モニタリングを行っている。	・今後も続けていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・クラス担当者もしくは児童発達管理責任者が参加するようにしている。	・どの職員でも子どもの状況をよく理解して参画できるようにしていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・医療機関を受診する際に情報提供を行っている。	・今後も関係機関との連携に努めていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・担当者会等で情報共有を図っている。	・情報共有する機会が少ない為、担当者会以外でも定期的に共有できるよう努めていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・就学連絡会を実施し、関係機関、就学先と情報共有や支援の引き継ぎを行っている	・今後も続けていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	・外部の講師から定期的にスーパーバイズを受けている。 ・地域の児童発達支援センター主催の研修会に参加している。	・今後も続けていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・並行通園のため、特に行っていない。	・要望があれば検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・定期的に家族面談を行っている。 ・活動の様子をLINEでお送りするようにしている。 ・茶話会の際に、写真や動画で全体の活動の様子を見て頂いている。	・分離グループになると本人の状態や課題について共有する機会が減る。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・年に2回、外部講師を招き保護主向けの学習会を実施している。	・今度も続けていく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時に説明を行っている。	・今後も続けていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・モニタリングの際に、ニーズを把握するように努めている。 ・家族面談等で、意向の確認に努めている。	・今後も、子どもや家族の意向を確認し、尊重にしていく。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者と連絡を取り合い、来所していただき説明を行っている。	・今後も続けていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・年に2回、家族面談の機会を設けている。 ・必要に応じて面談等を行っている。	・家族が相談しやすい環境づくりに努める。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・グループ毎に年2回の茶話会を実施。 ・学習会後に茶話会を実施。	・今後も、保護者同士が関わる機会を作れるよう検討していく。 ・保護者評価の中できょうだい児向けのイベントについての意見を頂いたので、今後検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・グループ毎に年2回の茶話会を実施。 ・学習会後に茶話会を実施。	・今後も、保護者同士が関わる機会を作れるよう検討していく。 ・保護者評価の中できょうだい児向けのイベ
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・個別に写真を渡し様子を伝えている。 ・活動予定を毎月配布している。	・要望があれば、検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報情報は慎重に取り扱っている。	定期的に個人情報の取り扱いについて確認し、事業所内で周知徹底していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・子どもの状態を見立て、言葉、写真、イラスト等わかりやすい方法で提示をする。	・今後もわかりやすい情報伝達等に努めていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・あおぞら会で、地域の方を招いてご意見を頂く機会にしている。	・今後も続けていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを作成し、保護者が閲覧できるよう玄関に設置している。	・年に1回内容について見直しをしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、年に1回見直しをしている。 ・定期的各グループごとに避難訓練を行っている。	・今後も、計画の見直し、訓練を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・アセスメント面談で、健康面の確認を行っている。 ・看護師を中心に対応を行っている。	・今後も確認を行っている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			該当なし	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、それに従って研修や訓練を行っている。 ・年に1回安全計画の見直しを行っている。	・今後も、計画の見直し、訓練を行っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事業所内への掲示で周知している。	掲示以外方法でも周知できるようにしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・今年度から、ヒヤリハット事例集を作成。活動の事例があった場合は、反省時に共有し記録している。 ・定期職員会の中で、再発防止に向けた方策について検討している。	・今後も続けていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・職員会の中で実施している。 ・外部の研修に参加している。	・外部の研修等にも参加していく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・危険回避のため身体拘束を行う可能性があるケースについては、支援計画に記載し、保護者に説明を行い、同意を得ている。	・保護者への説明を丁寧に行っていく。 ・危険回避のための対応については、職員間でよく話し合い検討していく。	